

遠野市監査委員告示第10号
令和2年8月21日

地方自治法第199条第7項の規定により遠野市が出資している法人の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子
遠野市監査委員 佐々木 資光

令和元年度

遠野市が出資している
法人の監査結果報告書

遠野市監査委員

遠 監 第 2 1 号
令和 2 年 8 月 21 日

遠野市長 本 田 敏 秋 様

遠野市監査委員 佐 藤 サヨ子
遠野市監査委員 佐々木 資 光

遠野市が出資している法人の監査結果報告書（令和元年度決算分）について
地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により遠野市が出資している
法人について監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり
提出します。

目 次

第1	監査の期日、対象等	1
第2	監査の内容	1
第3	監査の結果	1
1	株式会社遠野	2
2	株式会社遠野テレビ	6
3	一般社団法人遠野市畜産振興公社	11
4	一般社団法人遠野ふるさと公社	22
5	一般社団法人遠野わさび公社	30

【凡例】

- 1 文中及び各表中に用いる比率は、原則として小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 2 千円単位で表示してあるものについては、原則として千円未満を四捨五入して表示した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 3 文中及び各表中に用いる構成比率は、それぞれの占める割合を表示し、比較増減率（伸び率）は前年度に対する増減の割合を表示した。
- 4 表中の符号で「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
- 5 「-」は、該当数値のないものである。
- 6 マイナスは、「△」で表示した。

遠野市が出資している法人の監査結果報告書 (令和元年度決算分)

第1 監査の期日、対象等

地方自治法第199条第7項の規定に基づき市長から監査の要求があった市が出資している法人について、書類監査は令和2年7月22日に実施した。各法人からの聞き取りによる監査は、各法人の事務所又は市役所本庁舎会議室において7月27日から31日の間の3日間、延べ4日間実施した。

	法人名	資本金総額	市の出資金	出資率
1	株式会社遠野	200,000千円	100,000千円	50.0%
2	株式会社遠野テレビ	93,000千円	51,000千円	54.8%
3	一般社団法人遠野市畜産振興公社	250,000千円	190,000千円	76.0%
4	一般社団法人遠野ふるさと公社	71,000千円	60,500千円	85.2%
5	一般社団法人遠野わさび公社	5,000千円	3,300千円	66.0%
	合計	619,000千円	404,800千円	-

(②1000_監査対象法人)

第2 監査の内容

各法人の令和元年度における事業報告書及び財務諸表により、その内容を監査するとともに、総勘定元帳、預金通帳その他関係書類を試査する形で提示を受け、また、法人の代表者、経理担当者等からの説明を聴取して実施した。

第3 監査の結果

各法人の事業報告書及び財務諸表は、本事業年度における事業成果及び財務状況をおおむね適正に表示していると認める。

令和元年度決算における損益計算書又は正味財産増減計算書で赤字を計上している法人は、(株)遠野、(一社)遠野ふるさと公社及び(一社)遠野わさび公社の3法人である。昨年度、赤字を計上した(一社)遠野市畜産振興公社は、当期収支差額3,220千円で黒字決算となり、(株)遠野テレビは、開業以来20期連続の黒字決算となった。詳細については、法人ごとの監査結果で述べるので、ここでの記述は差し控える。

今後とも、公益法人においては公益法人会計基準、会社法に基づく法人においては企業会計原則を遵守しながら、一層の経営努力を望むものである。

1 株式会社遠野

遠野ふれあい交流センター、とおの物語の館及び城下町資料館の指定管理、遠野市立博物館の受付業務、宿泊施設、レストラン、喫茶店及び土産品店の経営並びに各種イベントの企画、制作、運営等を営む法人である。

令和元年度は、あえりあ遠野の機械設備改修並びに冷温水発生機部品及び厨房設備の更新を内容とする工事を行っていた。5月15日には、市民センター等と共用している遠野市民センター駐車場棟耐震改修（建築）に係る工事監査を行い、地震発生時等における利用者の安全確保に資するものと認めた。

令和元年度の事業概況については、次のとおりである。

宿泊部門においては、6月から8月にかけて行われた三陸防災復興プロジェクト2019や9月に始まったラグビーワールドカップ2019の釜石鶴住居復興スタジアムでの試合開催などの好機を得て観光客の増加とその回遊が期待されたが、台風19号による試合中止によってバスツアー及びラグビー観戦を目的としたインバウンド等の宿泊は思うような成果が得られず、宿泊者数は17,796人（前年度18,582人）で前年度を786人（4.2%）下回った。客室全62室の稼働率は50.2%（前年度56.6%）と6.4ポイント減で、4年連続の下落となり、売上額は120,836千円（前年度127,405千円）で6,569千円（5.2%）減少した。

営業部門においては、昨今の結婚式の挙げ方、披露宴スタイルの変化等により減少傾向が続いていた婚礼について4組・7,700千円（前年度2組・4,700千円）で前年度から2組・3,000千円増加したが、観光ツアー客の食事利用や会食付きコンベンション需要の拡大には改善が見られず、レストラン及び宴会の売上額は143,588千円（前年度156,174千円）で12,486千円（8.0%）減少した。

なお、とおの物語の館については、入館者数、お土産売上等が対前年度比10%増加し、また受託料においては、遠野ふれあい交流センター（とおの物語の館他含む）及び遠野市立博物館受付業務の合算による66,492千円（前年度66,322千円）で170千円（0.3%）増加したがこのことは、中長期的な宿泊増売戦略として取り組んでいる県主催キャラバンへの参加を含む県外でのセールス活動及び旅行エージェントへのセールス活動による成果の一端と考えられる。

経営成績では、総収益が334,825千円（前年度349,949千円）と15,124千円（4.3%）減少した。一方、総費用も340,347千円（前年度347,925千円）で7,578千円（2.2%）減少したが、当期純利益は△5,522千円（前年度2,024千円）で7,546千円（372.8%）の減少となった。これに前期繰越剰余金6,528千円を加えた次期繰越剰余金は、1,006千円となっている。

年度末にかけて深刻さを増した新型コロナウイルスの影響が大きく、赤字決算となったが、令和2年1月期までは5,000千円ほどの利益で業績が推移していた。このことは、過去8年間続く宿泊客の減少に歯止めをかけるべく、前述の県外でのセールス活動に積極的に取り組む等、長期かつ広域視点での営業努力のほか、一人の従業員が複数の業務をこなすマルチ・タスクへの取り組みを始めとした経営努力を払い、また、本市が誘致したブラインドサッカーブラジル選手団の合宿やスポーツ等合宿支援事業費補助金を活用した高校・大

学等の学生合宿の積極的な受け入れとともに、雇用開発助成金及びキャリアアップ助成金等の営業外での収入増加を図る取組の成果であった。改めて、新しい日常に対するこれからの挑戦に期待したい。

(1) 経営状況

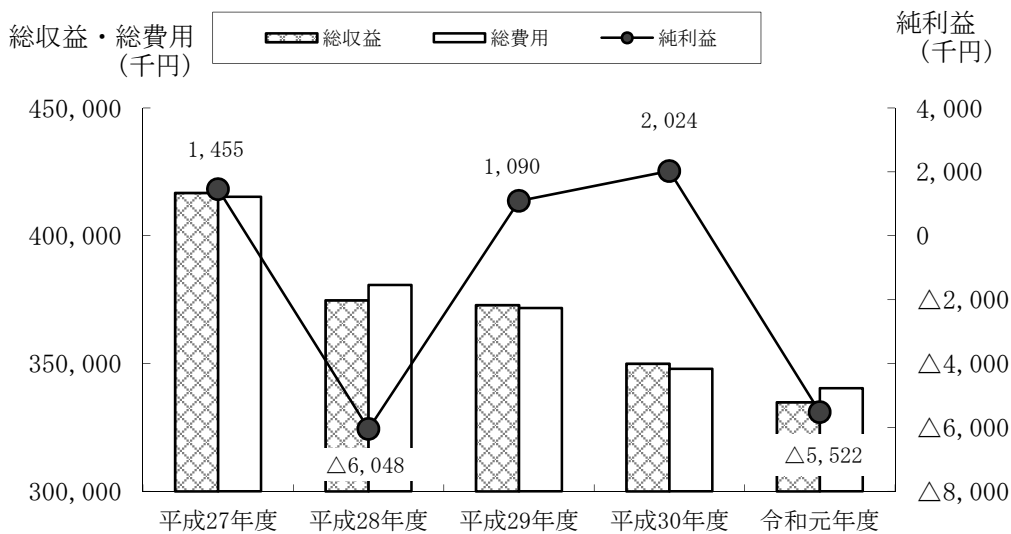
(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	349,949,079	334,825,008	△15,124,071	△4.3
総 費 用	347,924,715	340,346,581	△7,578,134	△2.2
当期純利益	2,024,364	△5,521,573	△7,545,937	△372.8

(②1101_遠野_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

総収益・総費用及び純利益の推移



(単位：千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総収益	416,727	374,705	372,841	349,949	334,825
総費用	415,272	380,753	371,751	347,925	340,347
純利益	1,455	△6,048	1,090	2,024	△5,522

(②1102_遠野_総収入等の推移)

(2) 財務状況

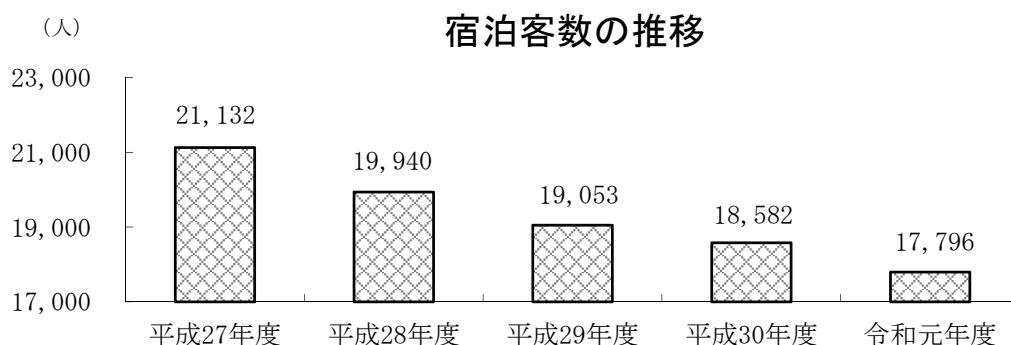
表1 損益計算書

株式会社遠野

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)売上高	349,801,002	330,916,181	△18,884,821	△5.4
	(2)営業外収益	73,937	3,802,835	3,728,898	5,043.3
	計	349,874,939	334,719,016	△15,155,923	△4.3
2 支出	(1)売上原価	57,865,688	56,360,976	△1,504,712	△2.6
	(2)販売費及び一般管理費	287,628,224	284,648,633	△2,979,591	△1.0
	計	345,493,912	341,009,609	△4,484,303	△1.3
経常利益		4,381,027	△6,290,593	△10,671,620	△243.6
特別利益		74,140	105,992	31,852	43.0
特別損失		0	0	0	0.0
法人税等充当額		2,431,403	543,000	△1,888,403	△77.7
法人税等調整額		△600	△1,206,028	△1,205,428	△200,904.7
当期純利益		2,024,364	△5,521,573	△7,545,937	△372.8
前期繰越利益剰余金		4,503,376	6,527,740	2,024,364	45.0
次期繰越剰余金		6,527,740	1,006,167	△5,521,573	△84.6

(©1104_遠野_損益計算書)



(単位：人、%)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比較	増減率
宿泊客数	21,132	19,940	19,053	18,582	17,796	△786	△4.2

(©1103_遠野_宿泊客数の推移)

表2 貸借対照表

株式会社遠野

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	272,371,444	264,091,303	△8,280,141	△3.0
(1) 流動資産	269,231,133	255,439,941	△13,791,192	△5.1
現金・預金	249,612,738	238,558,403	△11,054,335	△4.4
売掛金	8,321,721	4,511,589	△3,810,132	△45.8
棚卸資産	10,223,898	8,930,615	△1,293,283	△12.6
立替金	128,679	53,576	△75,103	△58.4
未収入金	794,679	1,224,349	429,670	54.1
繰延税金資産	0	0	0	0.0
未収還付法人税等	0	2,151,908	2,151,908	皆増
仮払金	0	0	0	0.0
前払費用	203,362	36,570	△166,792	△82.0
貸倒引当金	△53,944	△27,069	26,875	49.8
(2) 固定資産	3,140,311	8,651,362	5,511,051	175.5
有形固定資産	2,809,481	8,384,742	5,575,261	198.4
無形固定資産	147,500	73,500	△74,000	△50.2
投資その他の資産	183,330	193,120	9,790	5.3
2 負債	64,243,704	61,485,136	△2,758,568	△4.3
(1) 流動負債	33,594,150	22,590,497	△11,003,653	△32.8
買掛金	3,818,984	1,069,245	△2,749,739	△72.0
未払金	6,229,408	4,190,942	△2,038,466	△32.7
未払費用	11,501,309	8,649,613	△2,851,696	△24.8
前受金	25,000	60,000	35,000	140.0
仮受金	20,180	0	△20,180	皆減
未払消費税等	2,379,500	1,922,500	△457,000	△19.2
未払法人税等	3,046,400	1,559,800	△1,486,600	△48.8
賞与引当金	3,600,000	3,600,000	0	0.0
繰延税金負債	0	0	0	0.0
預り金	2,973,369	1,538,397	△1,434,972	△48.3
(2) 固定負債	30,649,554	38,894,639	8,245,085	26.9
3 純資産	208,127,740	202,606,167	△5,521,573	△2.7
(1) 資本金	200,000,000	200,000,000	0	0.0
(2) 利益準備金	1,600,000	1,600,000	0	0.0
(3) 繰越利益剰余金	6,527,740	1,006,167	△5,521,573	△84.6
負債及び純資産合計	272,371,444	264,091,303	△8,280,141	△3.0

(2)1105_遠野_貸借対照表)

2 株式会社遠野テレビ

CATV「遠野テレビ」を中心としたマルチメディアネットワークの構築によるテレビの難視聴の解消、地震等災害時の緊急対応、多チャンネルテレビや電話、インターネット等の様々なシステムが利用可能な高度情報施設の運営受託を目的として平成12年に設立された会社であり、有線テレビジョン放送事業及び放送施設の管理運営の受託、有線放送電話事業・電気通信事業の受託、映像ソフトの企画制作業務、情報処理サービス業務、テレビ番組・コマーシャルの企画制作等の業務を行っている。

令和元年度は、「進化する第2ステージ」と位置づけられた第2次経営計画実施2年目であり、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の大型スポーツイベント開催に合わせた4K対応セットトップボックスや録画機能付多機能セットトップボックスの普及、インターネット上位回線の増速による遠野テレビインターネットサービス需要の拡大を図ったほか、遠野遺産や遠野の風景・生業等を4Kカメラで収録等しての新たな番組制作、遠野タイムで放送した地域情報に係るNHK盛岡放送局及びテレビ岩手への映像素材の提供、台風19号接近時における遠野市災害対策本部からの生中継等の市民の安心安全に繋がる災害情報の発信等、市民の目線に立った質の良い情報提供や総合的なサービス向上に取り組んだ。

令和2年3月31日現在のテレビ加入状況は、遠野エリア7,282世帯（前年度比1世帯増、加入率83.1%）、宮守エリア1,538世帯（前年度比2世帯減、加入率99.0%）、合計8,820世帯（前年度比1世帯減、加入率85.5%）となっている。その一方、死亡や転出、独居利用者の老人福祉施設入所等に伴い視聴を休止するケースが増加し、その数は遠野エリアで1,002世帯（前年度比45世帯増）、宮守エリアで225世帯（前年度比21世帯増）、合計1,227世帯（前年度比66世帯増）となっている。

同じくインターネット加入状況は、遠野エリア3,052世帯（前年度比96世帯増、加入率34.8%）、宮守エリア571世帯（前年度比22世帯増、加入率36.7%）、合計3,623世帯（前年度比118世帯増、加入率35.1%）と増加している。ちなみに近年の電子レンタルビデオやライブ動画配信といった在宅でのインターネット利用における高速通信需要の高まりを反映し、月額使用料が増額となる、より高速なコースへの契約変更は113件であった。

経営成績は、総収益が268,104千円（前年度272,020千円）で3,916千円（1.4%）減少した。一方、総費用も263,976千円（前年度268,318千円）で4,342千円（1.6%）減少したことから、当期純利益は4,128千円（前年度3,701千円）で427千円（11.5%）の増加となった。これに前期繰越利益剰余金28,304千円と合わせた当期未処分利益は32,432千円、任意積立金60,000千円を加えた利益剰余金は92,432千円となっており、着実に当期純利益及び繰越剰余金を生み出し、経営状態は堅調に推移していると認められる。

今後ますます市民のインターネット需要は拡大し、通信インフラとしての高度化への要求が高まって行くと思われる。

遠野テレビの経営の軸となる事業の一つとして、新しい日常への変化にも柔軟に対応できる情報サービス体制を作り上げるためにもそのベースとして、高額な投資とはなるが市内全域のFTTH（光ファイバー）化について、国の補正予算による補助金を活用した導入に期待したい。

(1) 経営状況

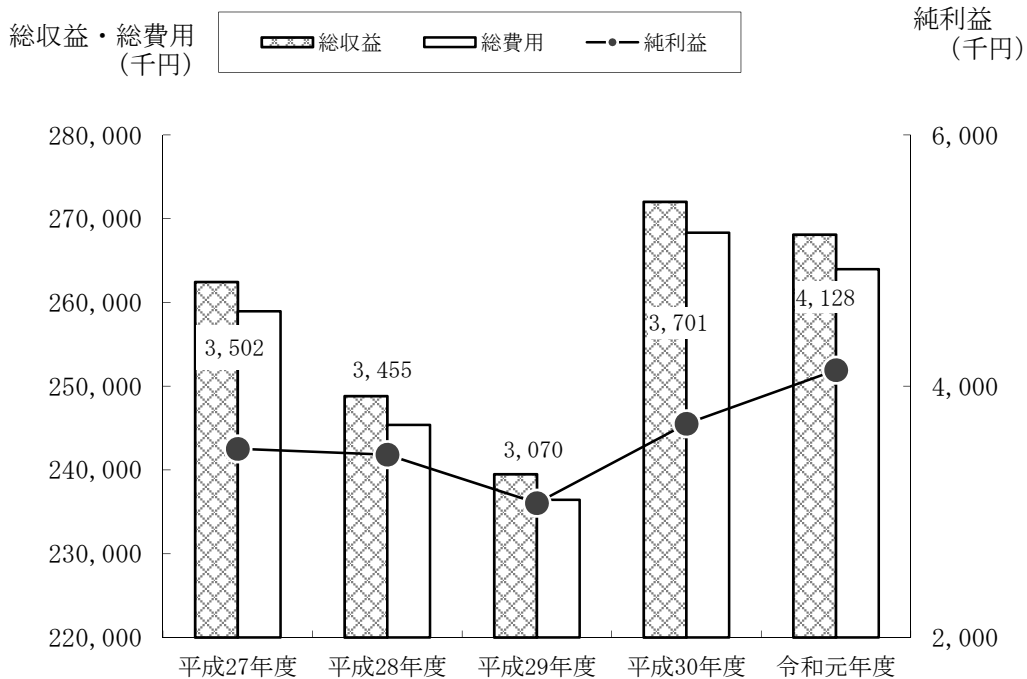
(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	272,019,876	268,104,140	△3,915,736	△1.4
総 費 用	268,318,470	263,975,753	△4,342,717	△1.6
当期純利益	3,701,406	4,128,387	426,981	11.5

(②1201_遠野テレビ_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

総収益・総費用及び純利益の推移

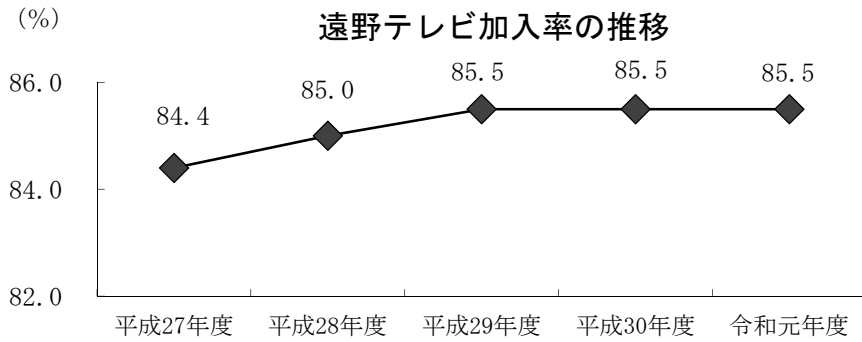


遠野テレビ

(単位：千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総収益	262,450	248,827	239,496	272,019	268,104
総費用	258,948	245,372	236,426	268,318	263,976
純利益	3,502	3,455	3,070	3,701	4,128

(②1202_遠野テレビ_総収入等の推移)

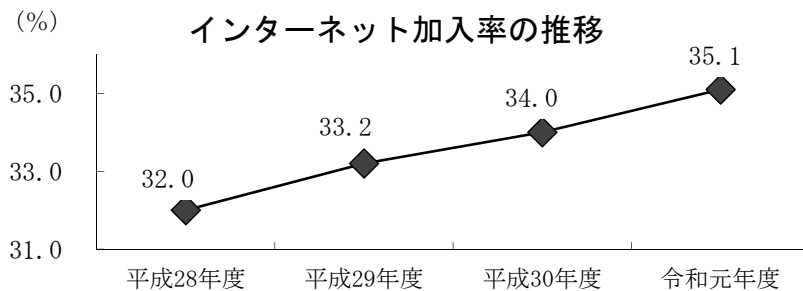


遠野テレビ

(単位：世帯、%)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比較	増減率
遠野エリア	対象世帯数	8,758	8,758	8,758	8,758	0	0.0
	加入世帯数	7,172	7,220	7,275	7,281	1	0.0
	加入率	81.9	82.4	83.1	83.1	ポイント 0.0	—
宮守エリア	対象世帯数	1,554	1,554	1,554	1,554	0	0.0
	加入世帯数	1,536	1,545	1,546	1,540	△ 2	△ 0.1
	加入率	98.8	99.4	99.5	99.1	ポイント △ 0.1	—
合計	対象世帯数	10,312	10,312	10,312	10,312	0	0.0
	加入世帯数	8,708	8,765	8,821	8,821	△ 1	△ 0.0
	加入率	84.4	85.0	85.5	85.5	ポイント 0.0	—

(②1203_遠野テレビ_加入率の推移)



遠野テレビ

(単位：世帯、%)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比較	増減率	
遠野エリア	対象世帯数	8,758	8,758	8,758	8,758	0	0.0
	加入世帯数	2,853	2,912	2,956	3,052	96	3.2
	加入率	32.6	33.2	33.8	34.8	ポイント 1.0	—
宮守エリア	対象世帯数	1,554	1,554	1,554	1,554	0	0.0
	加入世帯数	443	513	549	571	22	4.0
	加入率	28.5	33.0	35.3	36.7	ポイント 1.4	—
合計	対象世帯数	10,312	10,312	10,312	10,312	0	0.0
	加入世帯数	3,296	3,425	3,505	3,623	118	3.4
	加入率	32.0	33.2	34.0	35.1	ポイント 1.1	—

(②1204_遠野テレビ_インターネット_加入率の推移)

(2) 財務状況

表1 損益計算書

遠野テレビ

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)売上高	270,787,137	266,541,640	△4,245,497	△1.6
	(2)営業外収益	1,232,739	1,562,500	329,761	26.8
	計	272,019,876	268,104,140	△3,915,736	△1.4
2 支出	(1)売上原価	121,377,113	122,893,800	1,516,687	1.2
	(2)販売費及び一般管理費	145,636,352	139,423,366	△6,212,986	△4.3
	(3)営業外費用	0	250,087	250,087	皆増
	(4)特別損失	5	0	△5	皆減
	計	267,013,470	262,567,253	△4,446,217	△1.7
経常利益		5,006,406	5,536,887	530,481	10.6
法人税等充当額		1,305,000	1,408,500	103,500	7.9
当期純利益		3,701,406	4,128,387	426,981	11.5
前期繰越剰余金		84,601,810	88,303,216	3,701,406	4.4
次期繰越剰余金		88,303,216	92,431,603	4,128,387	4.7

(②1205_遠野テレビ_損益計算書)

表2 貸借対照表

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	290,328,126	286,787,355	△3,540,771	△1.2
(1) 流動資産	233,581,398	242,958,598	9,377,200	4.0
現金及び預金	169,046,318	178,220,413	9,174,095	5.4
貯蔵消耗品	54,596	54,694	98	0.2
商品	1,027,723	1,031,700	3,977	0.4
立替金	54,160	72,480	18,320	33.8
未収金	63,250,288	63,392,496	142,208	0.2
前払費用	527,313	566,815	39,502	7.5
貸倒引当金	△379,000	△380,000	△1,000	△0.3
(2) 有形固定資産	56,154,728	43,396,757	△12,757,971	△22.7
(3) 投資等	592,000	432,000	△160,000	△27.0
2 負債	109,024,910	101,355,752	△7,669,158	△7.0
(1) 流動負債	49,035,450	55,351,472	6,316,022	12.9
未払金	0	0	0	0.0
未払費用	22,661,191	25,437,097	2,775,906	12.2
前受金	52,200	52,200	0	0.0
預り金	21,729,459	21,838,575	109,116	0.5
法人税等未払金	771,200	756,300	△14,900	△1.9
未払消費税	3,821,400	7,267,300	3,445,900	90.2
従業員預り金	0	0	0	0.0
(2) 固定負債	59,989,460	46,004,280	△13,985,180	△23.3
3 純資産	181,303,216	185,431,603	4,128,387	2.3
(1) 資本金	93,000,000	93,000,000	0	0.0
(2) 任意積立金	60,000,000	60,000,000	0	0.0
(3) 繰越利益剰余金	28,303,216	32,431,603	4,128,387	14.6
うち当期純利益	3,701,406	4,128,387	426,981	11.5
負債及び純資産合計	290,328,126	286,787,355	△3,540,771	△1.2

(2)1206_遠野テレビ_貸借対照表)

3 一般社団法人遠野市畜産振興公社

遠野市と花巻農業協同組合が総合的な畜産振興を推進するために設立した牧場、草地、家畜の受託管理施設等の効率的な管理運営等を行う法人であり、平成25年10月1日に一般社団法人に移行した。

なお、平成27年度決算書から公益法人会計基準に準拠した会計制度を適用したことから、損益計算書に替る正味財産増減計算書を作成している。

「馬の里事業」では、競走馬施設管理事業、ホースパーク事業、乗用馬育成事業等を行っており、「馬産地遠野」の伝統を継承するため、福祉・教育・観光の各分野で関係部署と連携して、公益性の高い事業に積極的に取り組んでいる。

「放牧事業」では、牧場及び草地の管理運営、家畜の受託放牧・管理、キャトルセンターの管理運営、堆肥センターの運営、収益事業等による畜産振興に取り組んでいる。

馬の里事業と放牧事業を合わせた全体の経営成績では、経常・経常外収益が291,218千円（前年度289,270千円）で1,948千円（0.7%）増加した。一方、経常・経常外費用（法人税等充当金含む）は287,999千円（前年度293,378千円）で5,379千円（1.8%）減少し、当期一般正味財産増減額は3,220千円（前年度△4,108千円）で7,328千円（178.4%）増加している。これに前期繰越収支差額△65,868千円を加えた次期繰越収支差額は△62,649千円となっている。

「馬の里事業」及び「放牧事業」の両事業部門とも今期は黒字決算となり、公社全体としても2年ぶりの黒字決算となった。放牧利用料の改定据え置きによる減収分について市指定管理料の上乗せがあり収支均衡が保たれた状況はあるが、馬の里事業では、預託馬の計画頭数割れを公社所有馬の市場での販売収入で補い、放牧事業では、見込み通りの預託頭数が得られたこと等がこの結果となった。

【馬の里事業】

競走馬施設管理事業では、(株)遠野トレーニングセンターにおける令和元年度の月間平均利用実績は52.7頭（前年度49.7頭）と前年度実績より3頭/月増加しており、利用2社において安定的な頭数を確保し、その運営が円滑に行われるよう事務的支援が図られた。

ホースパーク事業では、施設内でのふれあい体験及び引馬の利用者は1,804人（前年度1,321人）と増加し、昨年度に引き続き土・日曜日のみの対応となった乗馬教室は利用者数108人（前年度115人）、新潟県粟島浦村から委託された馬管理現地指導業務受託料は3,500千円（前年度3,500千円）と、いずれも前年度並みとなった。

なお、馬の里施設外でのイベントについては引続き積極的に参加したが、中央馬事団体の支援を受けて平成24年度から続いている被災地支援活動については、沿岸部の学校、施設等から要望がなかったことから実施することができなかった。

乗用馬育成事業では、平日開催7年目となる第46回遠野市乗用馬市場を、23頭（昨年度28頭）の上場で開催した。全国への市場PRのためホームページ市場特別サイトを強化しての情報発信に加え、ユーザー訪問を積極的に行った結果、購買者数は29団体（前年度31団体）と減ったものの、平均価格では1,033千円（前年度1,013千円）で20千円、総取引額は16,530千円（前年度11,150千円）で5,380千円、上場した23頭に対し売買成立が16頭で

売却率69.6%（昨年度11頭・37.9%）と、いずれも前年度を上回った。また、最高価格は2,110千円（昨年度2,150千円）で、おおよそ前年度並みだった。内訳では、1歳馬が上場頭数10頭に対し売買成立が5頭で売却率50.0%（前年度28.6%）で、平成28年度から続いてきた売却率の前年度割れに歯止めがかかった。さらに、昨年度は厳しい結果となった基礎調教済み2歳馬も売却率100%（前年度57.1%）と、これ以上ない非常に良好な売却実績を上げ、購買者への意向調査の実施や新規購買者の確保に向けた地道な取組が成果となって表れていた。乗用馬預託については、単価の高い調教馬及び休養馬預託頭数が計画10頭に対し4頭（前年度4頭）にとどまったが、公社所有馬3頭の販売（税抜き合計金額4,220千円）により16,096千円（前年度12,445千円）と増収が図られた。また、新潟県粟島浦村から委託された馬管理現地指導業務については円滑に遂行され、前年度と同額3,500千円となった。繁殖業務については、乗用種雄馬4頭（前年度5頭）、農用種雄馬2頭（前年度1頭）の計6頭を供用して、種付頭数は乗用37頭（前年度39頭）、農用5頭（前年度6頭）の計42頭（前年度45頭）で、受胎頭数は乗用25頭・受胎率67.6%（前年度28頭・受胎率71.8%）、農用2頭・受胎率40.0%（前年度1頭・受胎率16.7%）の計27頭・受胎率64.3%（前年度29頭・64.4%）で、国の繁殖改良増殖目標の受胎率（75%）をはじめ、前年度をも若干下回った。凍結精液で受胎率が思うように上がらず、農用馬生産者から生体の種雄馬導入について要望があったことから、9月に日本馬事協会からブルトン種の種雄馬の貸付を受けて飼養し、令和2年度からの活用が見込まれている。

経営成績では、経常・経常外収益は108,062千円（前年度106,315千円）で1,747千円（1.6%）増加した。一方、経常・経常外費用（法人税等充当額を含む）は106,132千円（前年度108,709千円）で2,577千円（2.4%）減少した結果、当期一般正味財産増減額は1,930千円（前年度△2,394千円）で4,324千円（180.6%）の増加となっている。これに前期繰越収支差額△98,197千円を加えた次期繰越収支差額は△96,267千円となっている。

事業全般に改善・回復の傾向が見られることから、乗用馬市場開催時における市場PRやユーザー訪問、意向調査を継続かつ内容拡充して実施することにより更なる収益改善に結びつけ、「馬産地遠野」の堅持に取組まれることを期待する。

【放牧事業】

放牧事業では、放射性物質被害対策としての除染工事完了後の放牧再開から、寺沢牧場では5年目、荒川牧場と高清水牧場では4年目となった。全体として黒毛和種など26頭（3.6%）が減少し、放牧戸数は4戸減少して139戸（前年度143戸）となったが、放牧頭数は、寺沢牧場では牛156頭、馬34頭（計190頭）、荒川牧場では牛235頭、馬97頭（計332頭）、高清水牧場では牛137頭、石羽根牧場では馬43頭であり、合計は702頭（昨年度728頭）となった。

キャトルセンター事業については、大野平牧場では、成牛284頭（前年度286頭）、哺育・育成270頭（前年度299頭）、石羽根牧場では成牛256頭（前年度289頭）と全体で810頭（前年度874頭）となり64頭（7.3%）減少したが、冬期間の利用及び1頭当たりの平均利用日数が増加しており、夏期放牧から継続して冬期間も預託する牛が増えたことから、両施設とも高い利用率で推移している。

経営成績では、遠野市営牧野指定管理料に放牧料改定見送りに伴う差額が上乗せされたことに伴い77,330千円（前年度65,000千円）と12,330千円（19.0%）増加した一方で、子牛売上が25,396千円（前年度27,194千円）で1,798千円（6.6%）減少、市からの畜産クラスター事業に係る補助金の皆減（△10,000千円）などの結果、経常・経常外収益は183,157千円（前年度182,955千円）で202千円（0.1%）増加した。一方、経常・経常外費用（法人税等充当額を含む）は、181,867千円（前年度184,670千円）で2,803千円（1.5%）減少した結果、当期一般正味財産増減額は1,290千円（前年度△1,715千円）で3,004千円（175.2%）の増加となっている。これに前期繰越収支差額32,329千円を加えた次期繰越収支差額は33,618千円となっている。

放牧利用料改定に向けては農家説明会及び市営牧野再編に係る利用者説明会に市とともに指定管理者として出席して聴取した意見・要望を取り入れてサービス・顧客満足度の向上を図ったが、今後も市営牧野等の適正な管理運営に努めるとともに、生産者が安心して預託できる施設運営と受益と負担のバランスを図った事業経営が行われることを期待する。

(1) 経営状況

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減率
経常 経常外 収益 A	馬の里	106,315,270	108,061,584	1,746,314	1.6
	放 牧	182,954,821	183,156,821	202,000	0.1
	計	289,270,091	291,218,405	1,948,314	0.7
経常 経常外 費用 B	馬の里	108,636,787	106,131,676	△2,505,111	△2.3
	放 牧	184,669,544	181,795,144	△2,874,400	△1.6
	計	293,306,331	287,926,820	△5,379,511	△1.8
法人税 住民税 C	馬の里	72,000	0	△72,000	皆減
	放 牧	0	72,000	72,000	皆増
	計	72,000	72,000	0	0.0
当期一般正味 財産増減額 A－B－C	馬の里	△2,393,517	1,929,908	4,323,425	180.6
	放 牧	△1,714,723	1,289,677	3,004,400	175.2
	計	△4,108,240	3,219,585	7,327,825	178.4

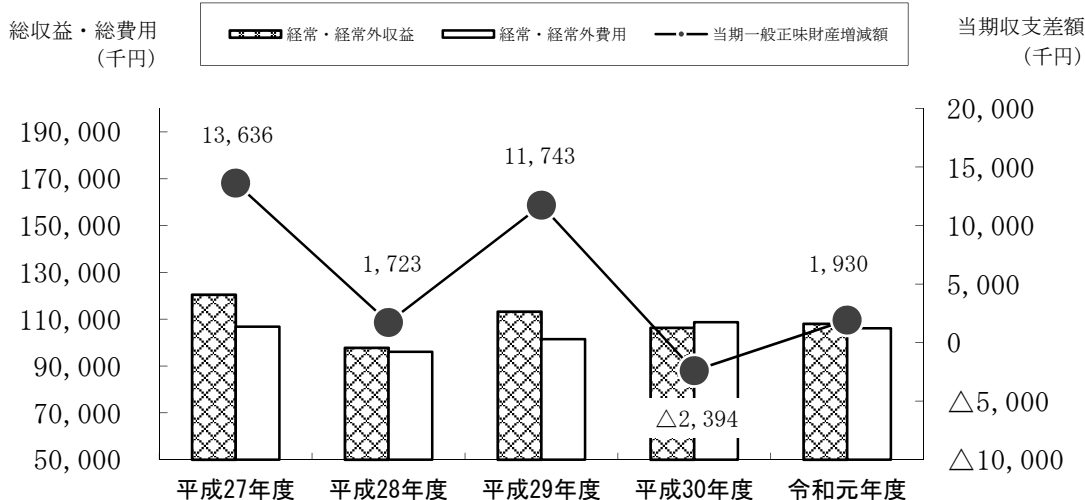
(1301_畜産公社_経営状況)

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減率
当期一般正味財産増減額	馬の里	△2,393,517	1,929,908	4,323,425	180.6
	放 牧	△1,714,723	1,289,677	3,004,400	175.2
	計	△4,108,240	3,219,585	7,327,825	178.4
前期繰越収支差額	馬の里	△95,803,355	△98,196,872	△2,393,517	△2.5
	放 牧	34,043,471	32,328,748	△1,714,723	△5.0
	計	△61,759,884	△65,868,124	△4,108,240	△6.7
当期繰越収支差額	馬の里	△98,196,872	△96,266,964	1,929,908	2.0
	放 牧	32,328,748	33,618,425	1,289,677	4.0
	計	△65,868,124	△62,648,539	3,219,585	4.9

(2)1301-2_畜産公社_経営状況)

経常・経常外収益及び費用・当期一般正味財産増減額の推移（馬の里事業）



一般社団法人遠野市畜産振興公社

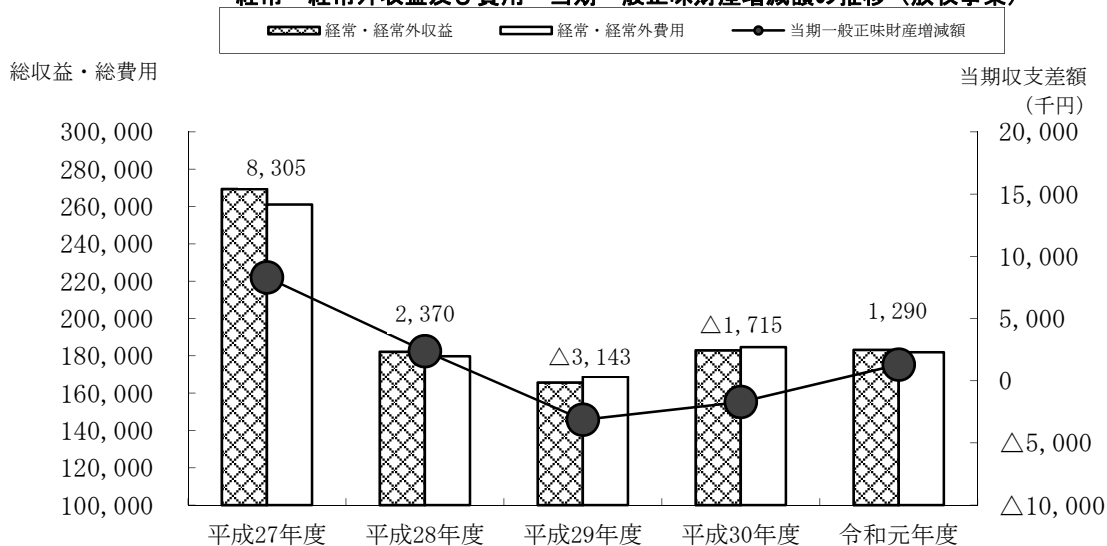
(単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常・経常外収益	120,449	97,772	113,232	106,315	108,062
経常・経常外費用	106,813	96,049	101,489	108,709	106,132
当期一般正味財産増減額	13,636	1,723	11,743	△2,394	1,930

※経常・経常外費用には、法人税等納税充当金を含む。

(©1302_畜産公社_総収入等の推移_馬の里事業)

経常・経常外収益及び費用・当期一般正味財産増減額の推移（放牧事業）



一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常・経常外収益	269,403	182,149	165,679	182,955	183,157
経常・経常外費用	261,098	179,779	168,822	184,670	181,867
当期一般正味財産増減額	8,305	2,370	△3,143	△1,715	1,290

※経常・経常外費用には、法人税等納税充当金を含む。

(©1303_畜産公社_総収入等の推移_放牧事業)

(2) 財務状況

表 1 正味財産増減計算書【全体】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分			平成30年度	令和元年度	前年度比較	
					増減額	増減率
1 経常 収益	(1) 事業収益	馬の里	47,753,619	51,848,525	4,094,906	8.6
		放 牧	168,110,326	179,683,781	11,573,455	6.9
		計	215,863,945	231,532,306	15,668,361	7.3
	(2) 受取補助金	馬の里	57,511,486	55,279,150	△2,232,336	△3.9
		放 牧	11,802,310	870,025	△10,932,285	△92.6
		計	69,313,796	56,149,175	△13,164,621	△19.0
	(3) 雑収益、 貸倒引当金戻入	馬の里	1,050,165	933,909	△116,256	△11.1
		放 牧	2,442,186	2,603,015	160,829	6.6
		計	3,492,351	3,536,924	44,573	1.3
経常収益計		馬の里	106,315,270	108,061,584	1,746,314	1.6
		放 牧	182,354,822	183,156,821	801,999	0.4
		計	288,670,092	291,218,405	2,548,313	0.9
2 経常 費用	(1) 事業費	馬の里	18,367,954	17,821,422	△546,532	△3.0
		放 牧	108,056,334	105,037,755	△3,018,579	△2.8
		計	126,424,288	122,859,177	△3,565,111	△2.8
	(2) 管理費	馬の里	90,241,806	88,250,541	△1,991,265	△2.2
		放 牧	76,441,946	76,606,218	164,272	0.2
		計	166,683,752	164,856,759	△1,826,993	△1.1
	(3) 貸倒引当金繰入	馬の里	27,027	59,699	32,672	120.9
		放 牧	171,263	151,171	△20,092	△11.7
		計	198,290	210,870	12,580	6.3
経常経費計		馬の里	108,636,787	106,131,662	△2,505,125	△2.3
		放 牧	184,669,543	181,795,144	△2,874,399	△1.6
		計	293,306,330	287,926,806	△5,379,524	△1.8
3 経常外収益	馬の里	0	0	0	0.0	
	放 牧	599,999	0	△599,999	皆減	
	計	599,999	0	△599,999	皆減	
4 経常外費用	馬の里	0	14	14	皆増	
	放 牧	1	0	△1	皆減	
	計	1	14	13	1,300.0	
5 法人税、住民税及び事業税	馬の里	72,000	0	△72,000	皆減	
	放 牧	0	72,000	72,000	皆増	
	計	72,000	72,000	0	0.0	
当期一般正味財産増減額		馬の里	△2,393,517	1,929,908	4,323,425	180.6
		放 牧	△1,714,723	1,289,677	3,004,400	175.2
		計	△4,108,240	3,219,585	7,327,825	178.4
一般正味財産期末残高		馬の里	91,803,128	93,733,036	1,929,908	2.1
		放 牧	92,328,748	93,618,425	1,289,677	1.4
		計	184,131,876	187,351,461	3,219,585	1.7

(©1304_畜産公社_正味財産計算書_全体)

表2 正味財産増減計算書【馬の里事業】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	比較増減	増減率
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益	106,315,270	108,061,584	1,746,314	1.6
事業収益	47,753,619	51,848,525	4,094,906	8.6
競走馬施設賃借料	12,360,000	12,360,000	0	0.0
競走馬施設分担金	6,209,273	6,668,246	458,973	7.4
作業営繕保守管理委託料	11,850,000	11,850,000	0	0.0
ホースパーク委託料	945,372	929,905	△15,467	△1.6
ホースパークふるさと村受託料	444,456	444,456	0	0.0
乗用馬預託料	12,444,518	16,095,918	3,651,400	29.3
その他の事業収益	3,500,000	3,500,000	0	0.0
受取補助金等	57,511,486	55,279,150	△2,232,336	△3.9
受取国補助金(中山間)	0	0	0	0.0
受取地方公共団体補助金(遠野市)	55,897,786	54,032,000	△1,865,786	△3.3
その他の補助金	1,613,700	1,247,150	△366,550	△22.7
雑収益	1,015,096	906,882	△108,214	△10.7
貸倒引当金戻入	35,069	27,027	△8,042	△22.9
(2) 経常経費	108,636,787	106,131,662	△2,505,125	△2.3
事業費	18,367,954	17,821,422	△546,532	△3.0
購入飼料費	8,122,515	7,951,911	△170,604	△2.1
草地管理費	479,998	562,599	82,601	17.2
消耗品・馬具類	657,521	641,094	△16,427	△2.5
衛生費	2,834,051	2,143,990	△690,061	△24.3
診療委託	600,000	600,000	0	0.0
労務費	2,999,334	2,855,136	△144,198	△4.8
保険費	332,351	487,748	155,397	46.8
その他の事業費	2,342,184	2,578,944	236,760	10.1
管理費	90,241,806	88,250,541	△1,991,265	△2.2
給料手当	39,176,753	44,123,637	4,946,884	12.6
福利厚生費	6,871,535	7,660,798	789,263	11.5
水道光熱費	6,856,265	6,858,801	2,536	0.0
保守修繕費	13,696,306	5,003,542	△8,692,764	△63.5
車輛燃料費	608,761	578,691	△30,070	△4.9
損害保険料費	3,140,704	3,283,542	142,838	4.5
リース料費	862,272	812,955	△49,317	△5.7
委託費	925,897	1,108,639	182,742	19.7
租税公課	4,867,140	4,480,518	△386,622	△7.9
原価償却費	5,927,568	5,867,400	△60,168	△1.0
その他の管理費	7,308,605	8,472,018	1,163,413	15.9
貸倒引当金戻入	27,027	59,699	32,672	120.9
当期経常増減額	△2,321,517	1,929,922	4,251,439	183.1
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0.0	0.0
(2) 経常外費用	0	14	14	皆増
当期経常外増減額	0	△14	△14	皆減
3 法人税、住民税及び事業税	72,000	0	△72,000	皆減
当期一般正味財産増減額	△2,393,517	1,929,908	4,323,425	180.6
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0
正味財産期首残高	94,196,645	91,803,128	△2,393,517	△2.5
正味財産期末残高	91,803,128	93,733,036	1,929,908	2.1

(2)1305_畜産公社_正味財産計算書_馬の里)

表3 正味財産増減計算書【放牧事業】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	比較増減	増減率
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益	182,354,822	183,156,821	801,999	0.4
事業収益	168,110,326	179,683,781	11,573,455	6.9
遠野市市営牧野指定管理料	64,999,991	77,330,069	12,330,078	19.0
放牧利用料	17,598,962	17,624,650	25,688	0.1
キャトル利用料	38,245,922	38,211,443	△ 34,479	△ 0.1
管外放牧利用料	2,983,147	3,824,954	841,807	28.2
管外放牧利用料東電賠償金	0	0	0	0.0
子牛売上	27,194,413	25,396,055	△ 1,798,358	△ 6.6
堆肥センター運営業務受託料	9,130,000	9,253,000	123,000	1.3
汚染牧草集約事業受託料	0	0	0	0.0
その他受託料	51,500	0	△ 51,500	皆減
粗飼料生産販売事業その他	7,906,391	8,043,610	137,219	1.7
受取補助金等	11,802,310	870,025	△ 10,932,285	△ 92.6
受取国補助金(中山間)	565,110	565,110	0	0.0
受取地方公共団体補助金(遠野市)	10,172,700	172,700	△ 10,000,000	△ 98.3
その他の補助金	1,064,500	132,215	△ 932,285	△ 87.6
雑収益	2,262,332	2,431,752	169,420	7.5
貸倒引当金戻入	179,854	171,263	△ 8,591	△ 4.8
(2) 経常経費	184,669,543	181,795,144	△ 2,874,399	△ 1.6
事業費	108,056,334	105,037,755	△ 3,018,579	△ 2.8
購入飼料費	36,442,599	32,194,547	△ 4,248,052	△ 11.7
草地管理費	13,733,187	15,011,282	1,278,095	9.3
賃借料	2,553,956	2,574,856	20,900	0.8
作業委託料	9,171,813	6,293,980	△ 2,877,833	△ 31.4
労務費	29,847,218	32,818,379	2,971,161	10.0
繁殖牛生産費	3,793,879	1,100,170	△ 2,693,709	△ 71.0
管外放牧料	2,983,147	3,824,950	841,803	28.2
その他の事業費	9,530,535	11,219,591	1,689,056	17.7
管理費	76,441,946	76,606,218	164,272	0.2
給料手当	32,188,825	33,073,218	884,393	2.7
福利厚生費	5,470,073	5,571,915	101,842	1.9
水道光熱費	5,212,883	5,340,861	127,978	2.5
保守修繕費	5,642,584	5,889,446	246,862	4.4
車輛燃料費	3,669,918	3,731,436	61,518	1.7
リース料費	15,742,539	15,761,108	18,569	0.1
租税公課	1,260,989	610,078	△ 650,911	△ 51.6
減価償却費	2,608,342	1,972,075	△ 636,267	△ 24.4
その他の管理費	4,645,793	4,656,081	10,288	0.2
貸倒引当金戻入	171,263	151,171	△ 20,092	△ 11.7
当期経常増減額	△ 2,314,721	1,361,677	3,676,398	158.8
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	599,999	0	△ 599,999	皆減
(2) 経常外費用	1	0	△ 1	皆減
当期経常外増減額	599,998	0	△ 599,998	皆減
3 法人税、住民税及び事業税	0	72,000	72,000	皆増
当期一般正味財産増減額	△ 1,714,723	1,289,677	3,004,400	175.2
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0
正味財産期首残高	94,043,471	92,328,748	△ 1,714,723	△ 1.8
正味財産期末残高	92,328,748	93,618,425	1,289,677	1.4

(©1306_畜産公社_正味財産計算書_放牧部)

表4 貸借対照表【全体】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分			平成30年度	令和元年度	前年度比較	
					増減額	増減率
1 資産	(1) 流動資産	馬の里	35,811,784	40,918,720	5,106,936	14.3
		放 牧	91,748,496	88,641,791	△3,106,705	△3.4
		計	127,560,280	129,560,511	2,000,231	1.6
	(2) 固定資産	馬の里	56,630,001	54,724,233	△1,905,768	△3.4
		放 牧	4,628,099	7,529,384	2,901,285	62.7
		計	61,258,100	62,253,617	995,517	1.6
	計	馬の里	92,441,785	95,642,953	3,201,168	3.5
		放 牧	96,376,595	96,171,175	△205,420	△0.2
		計	188,818,380	191,814,128	2,995,748	1.6
2 負債	(1) 流動負債	馬の里	638,657	1,909,917	1,271,260	199.1
		放 牧	4,047,847	2,552,750	△1,495,097	△36.9
		計	4,686,504	4,462,667	△223,837	△4.8
	(2) 固定負債	馬の里	0	0	0	0.0
		放 牧	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0.0
	計	馬の里	638,657	1,909,917	1,271,260	199.1
		放 牧	4,047,847	2,552,750	△1,495,097	△36.9
		計	4,686,504	4,462,667	△223,837	△4.8
3 正味 財産	(1) 一般正味財産	馬の里	91,803,128	93,733,036	1,929,908	2.1
		放 牧	92,328,748	93,618,425	1,289,677	1.4
		計	184,131,876	187,351,461	3,219,585	1.7
負債及び正味財産合計		馬の里	92,441,785	95,642,953	3,201,168	3.5
		放 牧	96,376,595	96,171,175	△205,420	△0.2
		計	188,818,380	191,814,128	2,995,748	1.6

(©1307_畜産公社_貸借対照表_全体)

表5 貸借対照表【馬の里事業】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	92,441,785	95,642,953	3,201,168	3.5
(1) 流動資産	35,811,784	40,918,720	5,106,936	14.3
預金・現金	31,670,720	31,326,922	△343,798	△1.1
貸倒引当金	△27,027	△59,699	△32,672	△120.9
貯蔵金（棚卸資産）	73,084	438,550	365,466	500.1
未収金	4,095,007	9,212,947	5,117,940	125.0
前払金	0	0	0	0.0
(2) 固定資産	56,630,001	54,724,233	△1,905,768	△3.4
建物	15,914,879	13,386,650	△2,528,229	△15.9
構築物	39,425,187	37,076,714	△2,348,473	△6.0
機械及び装置	1,035,940	3,940,124	2,904,184	280.3
その他の資産	253,995	320,745	66,750	26.3
2 負債	638,657	1,909,917	1,271,260	199.1
(1) 流動負債	638,657	1,909,917	1,271,260	199.1
未払金	638,657	1,909,917	1,271,260	199.1
前受金・仮受金	0	0	0	0.0
(2) 固定負債	0	0	0	0.0
長期借入金	0	0	0	0.0
3 正味財産	91,803,128	93,733,036	1,929,908	2.1
(1) 一般正味財産	91,803,128	93,733,036	1,929,908	2.1
負債及び正味財産合計	92,441,785	95,642,953	3,201,168	3.5

(2)1308_畜産公社_貸借対照表_馬の里事業)

表6 貸借対照表【放牧事業】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	96,376,595	96,171,175	△205,420	△0.2
(1)流動資産	91,748,496	88,641,791	△3,106,705	△3.4
預金・現金	65,669,435	65,155,631	△513,804	△0.8
貸倒引当金	△171,263	△151,171	20,092	11.7
貯蔵金（棚卸資産）	301,200	306,000	4,800	1.6
未収金	25,949,124	23,328,931	△2,620,193	△10.1
立替金	0	2,400	2,400	皆増
(2)固定資産	4,628,099	7,529,384	2,901,285	62.7
建物	2	2	0	0.0
機械及び装置	4,400,756	7,402,040	3,001,284	68.2
車両運搬具	100,006	7	△99,999	△100.0
その他の資産	127,335	127,335	0	0.0
2 負債	4,047,847	2,552,750	△1,495,097	△36.9
(1)流動負債	4,047,847	2,552,750	△1,495,097	△36.9
未払金	2,625,310	2,535,700	△89,610	△3.4
前受金・仮受金	1,422,537	17,050	△1,405,487	△98.8
(2)固定負債	0	0	0	0.0
長期借入金	0	0	0	0.0
3 正味財産	92,328,748	93,618,425	1,289,677	1.4
(1)一般正味財産	92,328,748	93,618,425	1,289,677	1.4
負債及び正味財産合計	96,376,595	96,171,175	△205,420	△0.2

(©1309_畜産公社_貸借対照表_放牧事業)

4 一般社団法人遠野ふるさと公社

遠野市並びに市内の産業団体及び産業人の有機的な結合により、豊富な素材と資源を活用し、地域の独自性を生かした特産品の開発、流通の拡充及び地場産業の振興並びに就業機会の増大を図ることによって地域経済の活性化及び市民福祉の増進に資することを目的に、遠野市、花巻農業協同組合、遠野商工会等で構成された法人であり、平成25年4月3日に一般社団法人へ移行した。

平成27年度から、遠野市情報交流センター（遠野風の丘）、たかむろ水光園、遠野ふるさと村及び伝承園の各施設について指定管理を受けている。

平成30年11月には、昭和63年10月の創業から30周年を迎えた記念式典が開催されるとともに、6月から3月までの10カ月間にわたり風の丘創業20周年記念事業が開催された。

令和元年度は、㈱日本人材機構の支援を受けて株式会社化を目指した経営改革3か年計画を策定及び理事会での承認の後、㈱地域経済活性化支援機構から投資の承認を得て、公社改革へ大きく歩み出した年であった。

三陸沿岸道路と繋がる東北横断自動車道釜石秋田線全線開通による交通アクセスの飛躍的向上による観光周遊コースの形成や、三陸防災復興プロジェクト2019及びラグビーワールドカップ2019の釜石鶴住居復興スタジアムでの試合を目的に沿岸部へ向かう多くの観光客が風の丘等へ立ち寄ることが期待されたが、台風19号による試合中止等により大きな成果は得られなかった。また、平成18年9月から盛岡圏域における本市の物産販売及び観光PR等の情報を発信するアンテナショップの役割を果たしてきたイオンモール盛岡南店内の「結いの市」については、契約満了に伴い13年間にわたる営業を終えて退店し、今後は「遠野風の丘川徳店」へ拠点を移した。

市、観光協会、観光推進協議会等と連携を図った観光客の誘客への取組みにより、インバウンド旅行者が増えつつあるように見えていたところ、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大の影響により売上は減少し、収支は大幅な悪化の状況にある。

各施設別の入込数は、伝承園43,599人（前年度37,733人、15.5%増加）、ふるさと村26,441人（前年度29,577人、10.6%減少）、風の丘856,065人（前年度885,187人、3.3%減少）、たかむろ水光園66,545人（前年度68,992人、3.5%減少）、合計で992,650人となり、前年度1,021,489人に比べ28,839人（2.8%）の減少となっている。

売店部門及び販売部門の売上は、売店部門の6施設及び販売部門5部門で387,622千円（前年度397,402千円、2.5%減少）、また食堂部門の売上は、4施設で135,325千円（前年度140,269千円、3.5%減少）となっている。

指定管理・受託事業では、遠野市から管理を委託された4施設の指定管理料として37,409千円（前年度37,752千円）、日本のふるさと遠野応援寄附金謝礼品発送等業務、友好都市等交流事業物産販売事業、産直ネットワーク集配システム構築業務等の受託、3施設の管理業務の合計で36,834千円（前年度51,080千円）の収入があった。

経営成績では、総収益は688,541千円（前年度723,848千円）で35,307千円（4.9%）減少した。一方、総費用は706,501千円（前年度735,139千円）で28,638千円（3.9%）減少した結果、当期収支差額は△17,749千円（前年度△11,397千円）で6,352千円（55.7%）の減少となっており、累積欠損額は前年度51,506千円から69,255千円へと増加した。

新会社、(株)遠野ふるさと商社の発足に伴い、今後は遠野ふるさと村とたかむろ水光園の2施設の指定管理業務を主とした事業運営となるが、両施設ともに「永遠の日本のふるさと遠野」を象徴する施設の一つであり、潜在価値を極限まで引き出す努力の継続に期待したい。

(1) 経営状況

(単位：円、%)

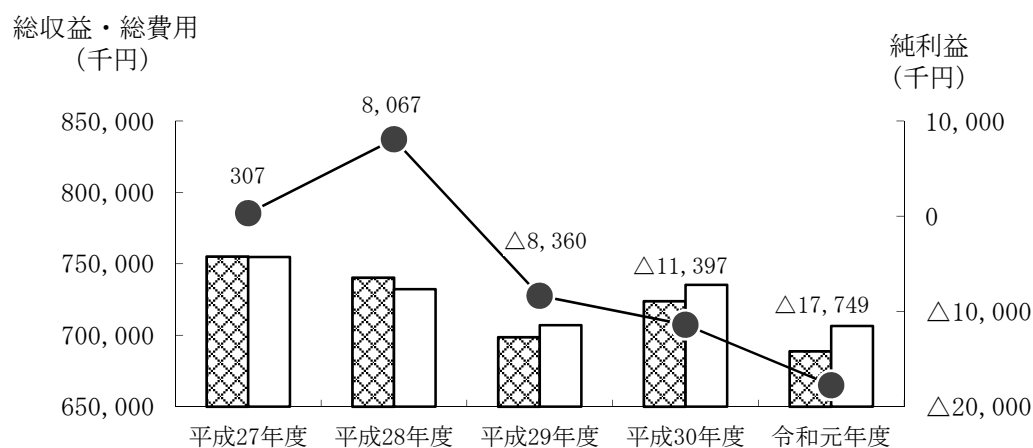
区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	723,848,018	688,752,028	△35,095,990	△4.8
総 費 用	735,245,457	706,501,024	△28,744,433	△3.9
当期収支差額	△11,397,439	△17,748,996	△6,351,557	55.7

(©1401_ふるさと公社_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

総収益・総費用及び純利益の推移

▨ 総収益 □ 総費用 ● 当期収支差額



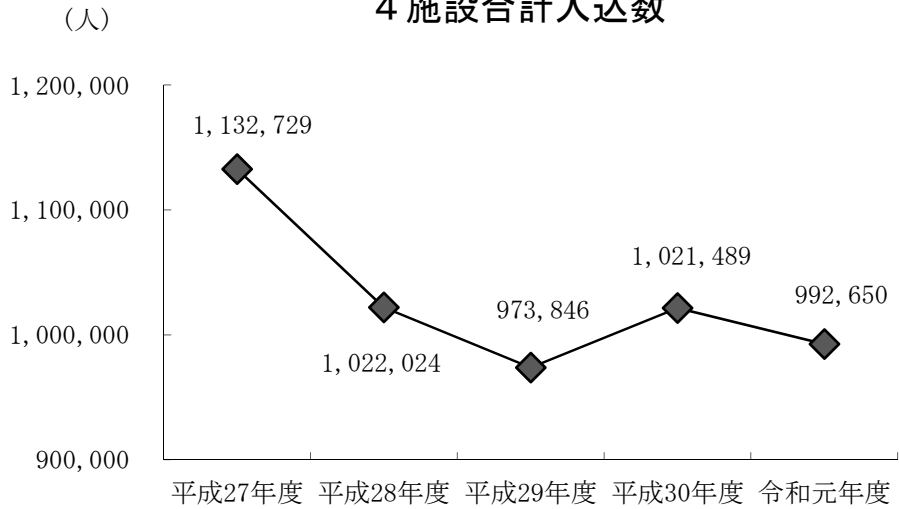
一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総収益	755,087	740,289	698,657	723,848	688,752
総費用	754,780	732,222	707,017	735,245	706,501
当期収支差額	307	8,067	△8,360	△11,397	△17,749

(©1402_ふるさと公社_総収入等の推移)

4 施設合計入込数

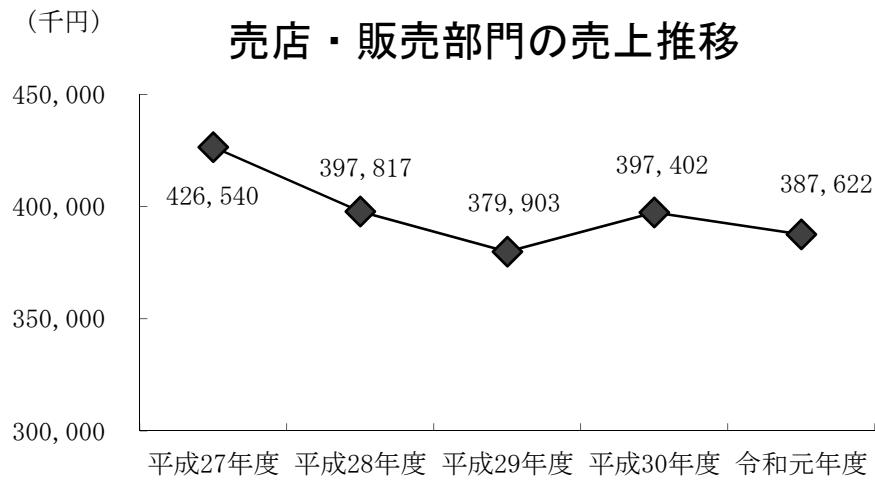


一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：人、%)

区分		入込数					前年度比較	
No.	施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減	増減率
1	風の丘	983,164	881,324	836,829	885,187	856,065	△29,122	△3.3
2	伝承園	44,720	40,737	38,728	37,733	43,599	5,866	15.5
3	ふるさと村	32,847	31,186	29,974	29,577	26,441	△3,136	△10.6
4	たかむろ水光園	71,998	68,777	68,315	68,992	66,545	△2,447	△3.5
計		1,132,729	1,022,024	973,846	1,021,489	992,650	△28,839	△2.8

(@1403_ふるさと公社_01入込数)



一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：千円、%)

区分		売店・販売部門の売上推移					前年度比較	
No.	施設名等	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減	増減率
売店部門	1 伝承園	15,559	15,520	15,873	16,225	17,545	1,320	8.1
	2 ふるさと村	11,843	11,002	11,320	10,430	8,984	△1,446	△13.9
	3 風の丘	202,950	183,130	169,896	177,661	170,408	△7,253	△4.1
	4 たかむろ水光園	7,959	8,299	8,678	10,586	12,659	2,073	19.6
	5 盛岡南店 (イオン)	123,756	116,898	108,929	102,282	90,241	△12,041	△11.8
	6 遠野風の丘川徳店	-	-	462	14,314	16,554	2,240	15.6
販売部門	7 宣伝販売	13,161	12,565	16,505	14,878	19,054	4,176	28.1
	8 ふるさと会員	17,852	18,470	23,799	20,620	19,210	△1,410	△6.8
	9 物産フェア	4,732	7,291	8,050	6,375	6,530	155	2.4
	10 武蔵野店	7,806	7,602	7,074	5,759	5,276	△483	△8.4
	11 配送部門	20,922	17,040	9,317	18,272	21,161	2,889	15.8
計		426,540	397,817	379,903	397,402	387,622	△9,780	△2.5

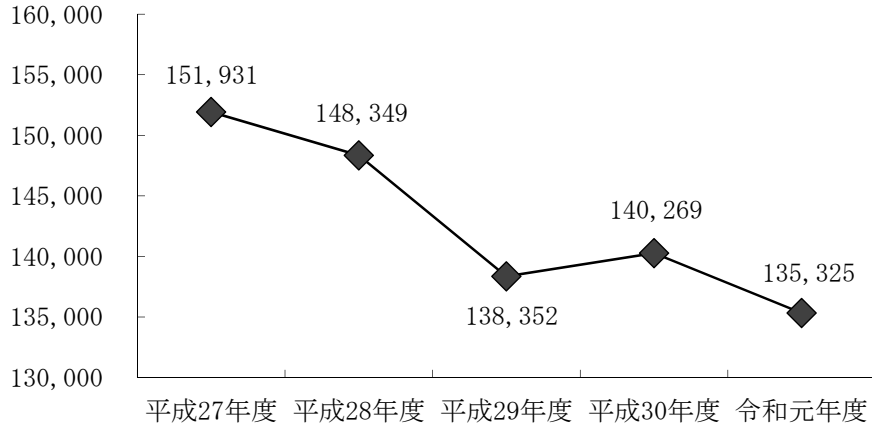
(@1404_ふるさと公社_02売店・販売)

※売店部門：イオン盛岡南店からの「結いの市」退店に伴い、川徳での売上金額を適及・分割して計上している。

※販売部門：業態等の変化に照らし、平成30年度までの「青果部門」を「配送部門」へ変更している。

(千円)

食堂部門の売上推移



一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：千円、%)

区分		食堂部門の売上推移					前年度比較	
No.	施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減	増減率
1	伝承園	23,087	20,175	19,342	19,612	18,825	△787	△4.0
2	ふるさと村	19,289	18,315	16,431	15,473	14,917	△556	△3.6
3	風の丘	53,239	52,342	49,449	53,107	52,136	△971	△1.8
4	たかむろ水光園	56,316	57,517	53,130	52,077	49,447	△2,630	△5.1
計		151,931	148,349	138,352	140,269	135,325	△4,944	△3.5

(©1405_ふるさと公社_03食堂)

(2) 財務状況

表1 損益計算書

一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)事業収入	719,533,973	677,413,500	△42,120,473	△5.9
	(2)事業外収入	4,314,045	11,127,925	6,813,880	157.9
	計	723,848,018	688,541,425	△35,306,593	△4.9
2 支出	(1)事業支出	734,486,302	705,999,227	△28,487,075	△3.9
	(2)事業外支出	531,074	370,726	△160,348	△30.2
	計	735,017,376	706,369,953	△28,647,423	△3.9
収支差額		△11,169,358	△17,828,528	△6,659,170	△37.4
特別利益		0	210,603	210,603	皆増
特別損失		106,001	0	△106,001	皆減
法人税等納税充当金		122,080	131,071	8,991	7.4
当期収支差額		△11,397,439	△17,748,996	△6,351,557	55.7
前期繰越収支差額		△40,108,939	△51,506,378	△11,397,439	28.4
次期繰越収支差額		△51,506,378	△69,255,374	△17,748,996	△34.5

(2)1408_ふるさと公社_損益計算書)

表2 貸借対照表

一般社団法人遠野ふるさと公社

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	91,993,011	67,740,995	△24,252,016	△26.4
(1) 流動資産	82,734,147	60,257,445	△22,476,702	△27.2
現金預金	28,397,865	33,244,587	4,846,722	17.1
売掛金	16,455,849	9,298,589	△7,157,260	△43.5
商品	9,149,667	6,797,639	△2,352,028	△25.7
仕掛品	2,560,121	2,229,394	△330,727	△12.9
立替金	265,959	84,417	△181,542	△68.3
貯蔵品	2,689,767	2,820,918	131,151	4.9
未収金	23,042,239	5,439,388	△17,602,851	△76.4
前払費用	540,340	499,570	△40,770	△7.5
貸倒引当金	△367,660	△157,057	210,603	57.3
(2) 固定資産	9,258,864	7,483,550	△1,775,314	△19.2
建物附属設備	13,458,000	13,458,000	0	0.0
構築物	2,152,200	2,152,200	0	0.0
工具器具備品	17,507,087	17,207,087	△300,000	△1.7
リース資産	9,586,860	3,966,000	△5,620,860	△58.6
減価償却累計額	△35,316,982	△30,591,436	4,725,546	15.4
無形固定資産	580,000	0	△580,000	皆減
電話加入権	89,919	89,919	0	0.0
保証金	1,201,780	1,201,780	0	0.0
2 負債	72,499,389	65,996,369	△6,503,020	△9.0
(1) 流動負債	72,499,389	65,996,369	△6,503,020	△9.0
買掛金	22,841,605	14,059,809	△8,781,796	△38.4
未払金	24,818,225	30,378,216	5,559,991	22.4
預り金	561,863	478,580	△83,283	△14.8
仮受金	20,091,220	16,398,964	△3,692,256	△18.4
納税引当金	122,000	122,000	0	0.0
未払リース金	142,776	0	△142,776	皆減
未払消費税	3,921,700	4,558,800	637,100	16.2
3 正味財産	19,493,622	1,744,626	△17,748,996	△91.1
(1) 一般正味財産	19,493,622	1,744,626	△17,748,996	△91.1
(うち基本金)	71,000,000	71,000,000	0	0.0
負債及び正味財産合計	91,993,011	67,740,995	△24,252,016	△26.4

(©1409_ふるさと公社_貸借対照表)

5 一般社団法人遠野わさび公社

地域に適した優良なわさび苗の開発、生産及び供給と流通に係る調査研究、わさびを活用した特産品の研究開発、生産技術の指導、公共施設の管理受託などで、地域の産業振興と活性化を目的に設立された法人であり、平成25年4月1日に一般社団法人に移行し、名称を「社団法人宮守わさびバイオテクノロジー公社」から「一般社団法人遠野わさび公社」に変更した。

平成22年度に遠野市進化まちづくり検証委員会から提出された第三セクター等検証結果報告書を基に、経営改革のための新規事業として根わさびの生産販売に取組み8年が経過した。わさび苗の販売と合わせた事業収入は、初年度の平成24年度の4,346千円に始まり令和元年度は期間中最高となる12,418千円となったが、その推移は決して順調な右肩上がりではなく、また、年度間の変動の振幅が大きい不安定な収入状況となっている。

わさび苗の生産供給では、県内外の根わさび・畑わさびの生産者からの受注及び公社事業に向けた育苗を考え合わせて、クローン苗、実生苗及び分根苗を合計102,600本（前年度57,550本）生産し、そのうち総販売本数は78,163本（前年度53,459本）で、市外からの受注増加に伴い前年度より24,704本増加した。生産する3種類の苗の中で最も単価が高いクローン苗の販売が昨年度より8,050本・74.9%増加したことから、販売額は4,787千円（前年度2,712千円）で2,075千円増加する結果となった。

根わさび生産販売では、周年市場出荷を目標に掲げて取組み、加工調整のため11月中は出荷中止とされたが、出荷期間が前年度より2倍以上に増加したことから、根わさび、加工原料等の全体出荷量は7,918kg（前年度4,514kg）、販売額7,639千円（前年度5,272千円）で2,367千円（3,404kg）増加した。

経営成績では、総収益は21,815千円（前年度21,408千円）で407千円（1.9%）増加した。一方、総費用は22,290千円（前年度21,077千円）で1,213千円（5.8%）増加した結果、当期収支差額は△475千円（前年度331千円）で806千円（243.5%）の減少となった。これに前期繰越収支差額217千円を加えた次期繰越収支差額は△258千円となった。

わさび苗の受注は増加したが、クローン苗については受注量に対して生産が追い付かず、また、実生苗については気候状況等の影響で仕上がりが遅く、いずれも納品遅延を回避するため外部調達による仕入販売を行ったため、当該調達費用がかさむ結果となり、増収減益の結果となった。今後は、生産者への安価・安定供給に係る公益優先を重視しながらも、収支バランスを考慮した持続可能な法人経営に留意されたい。

なお、財務諸表を精査した結果、経費の立替え等が認められたことから、経理事務の改善を図られたい。

(1) 経営状況

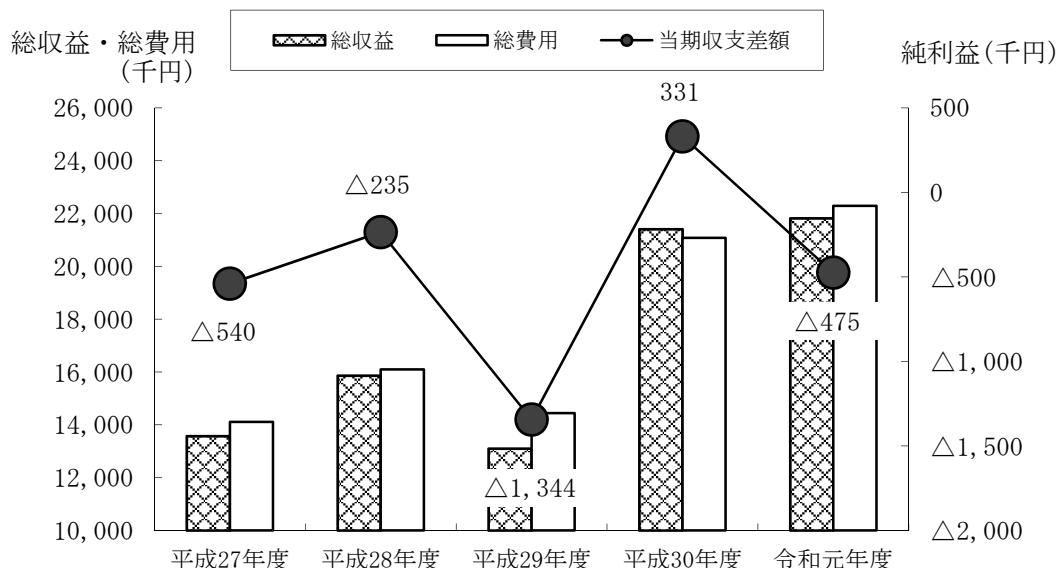
(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総 収 益	21,408,615	21,815,121	406,506	1.9
総 費 用	21,077,413	22,290,496	1,213,083	5.8
当期収支差額	331,202	△475,375	△806,577	243.5

(©1501_わさび公社_経営状況)

※ 総費用には、法人税等納税充当金を含む。

総収益・総費用及び純利益の推移



一般社団法人遠野わさび公社

(単位：千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総収益	13,572	15,860	13,098	21,408	21,815
総費用	14,112	16,095	14,442	21,077	22,290
当期収支差額	△540	△235	△1,344	331	△475

(©1502_わさび公社_総収入等の推移)

(2) 財務状況

表 1 損益計算書

一般社団法人遠野わさび公社

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1) 事業収入	7,984,293	12,418,340	4,434,047	55.5
	(2) 基本財産運用収入	18	22	4	22.2
	(3) 営業外収益	13,424,304	9,396,759	△4,027,545	△30.0
	補助金収入	13,376,000	9,376,000	△4,000,000	△29.9
	雑収入	48,304	20,759	△27,545	△57.0
	計	21,408,615	21,815,121	406,506	1.9
2 支出	(1) 事業費	8,774,360	12,940,637	4,166,277	47.5
	(2) 管理費	12,231,053	9,277,859	△2,953,194	△24.1
	(3) 法人税等納税充当金	72,000	72,000	0	0.0
	計	21,077,413	22,290,496	1,213,083	5.8
当期収支差額		331,202	△475,375	△806,577	△243.5
前期繰越収支差額		△113,852	217,350	331,202	290.9
次期繰越収支差額		217,350	△258,025	△475,375	△218.7

(©1503_わさび公社_損益計算書)

表2 貸借対照表

一般社団法人遠野わさび公社

(単位：円、%)

区 分	平成30年度	令和元年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	6,495,248	6,277,947	△217,301	△3.3
(1)流動資産	5,067,988	4,840,687	△227,301	△4.5
現金及び預金	475,879	228,340	△247,539	△52.0
売掛金	1,425,377	1,052,265	△373,112	△26.2
仕掛品	3,153,300	3,413,911	260,611	8.3
前払費用	0	140,000	140,000	皆増
未収入金	13,432	6,171	△7,261	△54.1
(2)有形固定資産	1,427,260	1,437,260	10,000	0.7
構築物	1,075,243	1,075,243	0	0.0
工具器具備品	352,017	352,017	0	0.0
投資その他の資産	0	10,000	10,000	皆増
2 負債	1,277,898	1,535,972	258,074	20.2
(1)流動負債	1,277,898	1,535,972	258,074	20.2
買掛金	151,800	160,869	9,069	6.0
未払費用	1,040,938	1,292,701	251,763	24.2
前受金	0	0	0	0.0
未払法人税等	72,000	72,000	0	0.0
預り金	13,160	10,402	△2,758	△21.0
3 純資産	5,217,350	4,741,975	△475,375	△9.1
(1)資本金	5,000,000	5,000,000	0	0.0
(2)利益剰余金	217,350	△258,025	△475,375	△218.7
負債及び純資産合計	6,495,248	6,277,947	△217,301	△3.3

(2)1504_わさび公社_貸借対照表)